

【会員だより】

## 大阪支部総会に参加して

関西電力病院 盛武 花菜里(大13回生)

今回、私は学友会大阪支部総会に初めて参加させていただきました。学生時代から就職懇談会や数々のイベントでお世話になった学友会の一会員として初めて参加し、学生の時とは違う立場でとても貴重なお話を聞くことができ、有意義な時間となりました。学友会は私より年齢も経験もはるかに上の先輩方が集まって会議を行い、運営をしているイメージがあり、私が参加してもお話についていけるのかという不安も正直ありました。しかし実際に参加させていただき、業務のこと、それに伴う新たな目標について、職場の先輩方とはまた違った視点からの意見を頂戴しました。私のなかで少し迷っていた将来のビジョンというものが明確に見え、学友会は私たちのような新人にとっても大きくプラスになるものだと感じました。

講演会では、一般撮影の肩関節撮影についての講演と島津製作所の受付システム装置の講演を聞かせていただきました。島津製作所の方の講演では、実際の現場と、患者さんの気持ちと技師側の気持ちも考慮された装置でありとても興味深いお話でした。

肩関節の講演では、新人の私でも理解しやすい講演をしていただき、肩関節撮影の注意点、改善方法など、次の日からすぐに活用できるような講演でとてもためになりました。

今回の支部総会を通して、改めて京都医療科学大学の歴史の長さを感じることができました。学生の際は様々な場面でお世話になってばかりでしたが、これからは将来に向けて勉強を頑張っている後輩たちのために貢献していきたいと思いました。



パナソニック健康保険組合 松下記念病院 居内佑樹(大10回生)

この度は、新入会員として初めて京都医療科学大学学友会大阪支部学術講演会・支部総会に参加させていただき、実際に学友会がどのような活動を行っているのか知ることができました。

学術講演会では、先輩方が診療放射線技師として業務を行うなかで培った X 線撮影のノウハウについてご講演していただき、とても参考になりました。同じ大学の先輩方の姿やお話を伺って将来どのような技師を目指したいのかを具体的に考える貴重な機会になったと考えています。今後も、このような機会があれば積極的に参加していきたいです。

これからの目標として考えているのは、僕が今年で4年目になったこともあり、今までに比べて様々なモダリティに携わる機会が多くなってきました。しかし、そのなかで普段とは違う状況や条件で検査を実施する際にはまだまだ不安に感じることも多くあります。

今後は、特殊な状況下でも自分の行動、判断に自信を持って対応し、独力でも問題なく遂行できる検査を増やしていきたいと考えています。また、現在メインで担当している放射線治療で、専従者として業務に携わるため放射線治療専門放射線技師の資格取得を目指し、日々努めています。

以上